

秘境

Molly Journal82

2007.4.18

前回、ジャーナルを書いている時に、四国旅行の際に行った「かずら橋」についてふれましたが、ここはこの旅行の中で、そしておそらく日本中で、もっともユニークな場所の一つでした！四国に行くまでは、かずら橋についてあまり知りませんでした。ガイドブックに載っていたのを見て、行ってみたら面白いだろうなと思っていました。驚いたことに、徳島でALTとして働く友達は祖谷村（いやむら）のこの橋のとてと近くに住んでいるんです。（その場所のことを）話しをしていた人のほとんどに知られていなかったことに驚いたので、旅から帰って、この地域のことについて調べてみました。すると、祖谷村は実際に日本三大秘境*の一つと考えられているということが分かりました。本当にそうだ！と思います。

この地には三本の「かずら」の橋があります。一本は、とても観光地化された場所にあり、山の斜面から張り出している、かなり大きなコンクリートの駐車場が完備されていました。そして観光客の少ない二本の橋は、もっと山の奥にありました。友達に勧められ、私達は時間を取って、遠い方の橋へ車を走らせました。その景色は壮大なものでした。これらの橋はかずらと木で作られていましたが、現在ではかずらの下に構造を強化する鉄のケーブルが使われています。昔は、これらの橋が川を渡る唯一の手段で、橋は、敵の侵入を防ぐためにわざと断ち切られました。私達が行った、その二つの橋は並んで架かっていて、その橋を見つけるために一時間車を運転した価値は十分にありました。そこへ行く道のりは、三重県では普通、車で走らない、小さくて風が吹きさらす山道で驚きました。山あいの小さく、伝統的な日本の村を見ながら行ったのが、この旅をよりいっそう印象的で思い出深いものにしてくれました。

目的地に着いたら雨が降り始め、橋は滑りやすくなり、山と川は何か幻想的な霧に囲まれていました。雨が降っていて私達はがっかりしましたが、結果的には、雨がよりいっそう思い出深い経験にしてくれました。私達の他にほとんど観光客はいませんでしたので、たっぷり橋とその眺めを楽しみました。橋を構成している木の板と板の間が、所々、足が滑りぬけてしまうほど十分に開いていたのには、本当に驚きました。ある意味、私にはとても危険なように思いました。橋は私達が渡ると揺れ、こんな（危険な）場所なのに、旅行者が自由に渡ることができるよう開放されていることに驚きました。私は、今までに隙間から滑りぬけて、川底に落ちてしまった人はいなかったのかしらと思いました。

橋から帰る頃には、私達はかなり雨に濡れ、疲れていました。しかしこの体験は、かずら橋での時間を実にすばらしいものにしてくれました。日本の多くの観光地と違って、気軽に行ったり、お寺のような美しい場所を見たりしたような気分ではありませんでした。今回、私達は本当に訪れるべき地に行ったという経験をしましたが、それは私にとって忘れられないものになりました。私たちは、他の場所を見に行くことは断じてせずに、あきもせず何度も橋を見に行きましたが、何もやり残していないという気持ちでした。

* 三大秘境の残り二箇所は、宮崎県の椎葉 - もう興味津々です！そして岐阜県の白川郷 - 、日本の中で、私のお気に入りの場所です。